Realize Your Dream

夢実現は
専門高校から

令和3年度学校案内

徳島県立小松島西高等学校

徳島県小松島市中田町字原ノ下28-1 ＴＥＬ.0885-32-0129(代)

沿　革

■昭和26年4月
徳島県中央高等学校として発足（定時制独立校）昼間部に農業科、家庭科、夜間部に商業科、普通科を設置。
■昭和31年4月
徳島県立小松島西高等学校と校名改称、全日制課程となり、商業科と食物科を設置。（定時制課程は募集を停止）
■昭和38年4月
家庭科の再編成により家政科を新設。
■昭和41年12月
体育館兼講堂が竣工。
■昭和42年2月
食物科が調理師法による調理師養成施設の許可を受ける。
■昭和48年4月
服飾科を新設。
■昭和56年2月
創立30周年記念及び松籟研修館・弓道場・体育部室落成。
■昭和58年3月
特色ある学校づくりの推進事業として、被服実習棟「藍の館」が竣工。
■平成10年4月
生活文化科を新設。服飾科の募集を停止。
■平成11年4月
福祉科を新設。
■平成13年2月
創立50周年記念式典を挙行。
■平成15年4月
大学科として福祉科を設置。
■平成19年5月
文部科学省「目指せスペシャリスト」（スーパー専門高校）の指定を受ける。
■平成21年3月
福祉科が社会福祉士及び介護福祉士法による介護福祉士を養成する福祉系高校の許可を受ける。
■平成22年12月
本館耐震改築工事により802.64㎡が竣工する。
■平成24年4月
勝浦高等学校が小松島西高等学校勝浦校となる。
■平成26年5月
文部科学省「スーパー食育スクール事業」の指定を受ける。（～27年度）
■平成29年6月
県教育委員会「スーパーオンリーワンハイスクール（チャレンジ）」の認定を受ける。
■平成30年6月
県教育委員会「スーパーオンリーワンハイスクール（スタンダード）」の認定を受ける。
■令和元年7月
県教育委員会「スーパーオンリーワンハイスクール（海外）」の認定を受ける。

年間行事（令和元年度）

1学期

4月
◎入学式
◎オリエンテーション
◎対面式

5月
◎PTA総会
◎中間考査
◎生徒総会

6月
◎県高校総体
◎四国総体

7月
◎期末考査
◎球技大会
◎オープンスクール

2学期

8月
◎インターハイ

9月
◎就職試験開始

10月
◎松西祭（体育祭、文化祭）
◎中間考査
◎遠足（1・3年）

11月
◎人権週間
◎県高校総合文化祭

12月
◎期末考査
◎球技大会

3学期

1月
◎学年末考査（3年）
◎予餞会

2月
◎修学旅行（2年）

3月
◎卒業式
◎学年末考査（1・2年）

みずきちゃん
（本校マスコットキャラクター）

部活動

文化部

吹奏楽、書道、写真、茶道、放送、JRC
インターアクト、ヒューマンサークル、染色・手芸
ワープロ・情報処理、アートデザイン、調理クラブ
TOKUSHIMA雪花菜工房、経理研究同好会

体育部

陸上競技、野球、空手道、バレーボール、弓道、卓球
バドミントン、テニス、バスケットボール　等

KOMATSUSHIMA WEST HIGH-SCHOOL

商業科

生徒数 (R2.5.1 現在)

	男	女	計
1年	35	25	60
2年	37	23	60
3年	29	30	59

商業科の目標

ビジネスに関する基礎的・基本的な知識・技術とビジネスに対する心構え・考え方を学び、ビジネス全般について総合的に学習し、経済社会に貢献できる人材の育成を目指します。

学習内容

＊数字は単位時間
△は選択科目
（単位時間は予定で変更することもあります）

1年	
● 普通科目	17
● ビジネス基礎	3
● 簿記	4
● 情報処理	5
2年	
● 普通科目	14
● 課題研究	2
● マーケティング	3
● 財務会計Ⅰ	3
● 原価計算	3
● ビジネス情報	4
3年	
● 普通科目	17
● 課題研究	3
● 総合実践	4
● ビジネス経済応用	2
● プログラミング	△3
● 電子商取引	△3
● 広告と販売促進	△3

Q 商業科の特徴は何ですか？

A 基礎的科目である「ビジネス基礎」を基本にし、4つの分野をバランスよく学習します。社会人として必要なビジネスマナーの修得にも力を入れ、実社会で即戦力として活躍するためのカリキュラムが組まれています。

Q どんな資格取得を目指しますか？

A 会計処理を基本とした**簿記実務検定**、**珠算・電卓実務検定**、接客サービス対応を中心とした**社会人常識マナー検定**、**ビジネスコミュニケーション検定**、商業や経済全般に関する**商業経済検定**、情報処理関連の**ビジネス文書実務検定**、**情報処理検定**、また国際化に対応するため**全商英語検定**の合格を目指しています。

■授業風景

食物科

生徒数 (R2.5.1 現在)

	男	女	計
1年	29	41	70
2年	21	47	68
3年	20	40	60

食物科の目標

食に関する専門的な知識と技術を身につけ、
食産業に従事する人材を育成します。

学習内容

＊数字は単位時間
△は選択科目

（単位時間は予定で変更することもあります）

1年	
● 普通科目	18
● 調理	5
● 生活産業基礎	2
● 栄養	2
● 食品衛生	2
2年	
● 普通科目	14
● 生活産業情報	2
● 調理	5
● 食品	2
● 食品衛生	1
● 公衆衛生	2
● 集団給食	1
● 総合調理実習	2
3年	
● 普通科目	12
● 調理	4
● 栄養	1
● 食品衛生	2
● 食文化	1
● 公衆衛生	1
● 課題研究	3
● 生活産業情報	2
● 総合調理実習	1
● 教養実践（選）	△2
● 調理フランス語（選）	△2
● 調理中国語（選）	△2

Q 食物科の特徴は何ですか？

A 調理師を養成する高校は、県内で本校1校です。
卒業と同時に、調理師の資格が取得できます。

Q 調理実習では具体的にどんな内容を学びますか？

A 食物科では、1年生で日本料理、2年生で中国料理、3年生で西洋料理を学びます。県内で活躍するプロの調理師から学ぶこともできます。
集団給食は2年生･3年生すべての生徒が交替で実習し、栄養士が指導に入って、毎日約200食作っています。

Q 卒業後の進路はどうなりますか？

A 大学や短大、専門学校等に進学し、食物科で学んだ知識や技術をさらに深め、栄養士、管理栄養士を目指すことができます。
就職は、料亭、ホテル、病院等、県内外から毎年求人が多くあり、それぞれ各自の得意な分野へ就職しています。

年間4回のミニカフェプラスを本校で開催し、
地域の方々に生徒の作った料理を食べていただいています。

■ミニカフェプラスの献立

■調理実習

■卒業作品展

生活文化科

生徒数 (R2.5.1 現在)

	男	女	計
1年	0	20	20
2年	1	18	19
3年	0	17	17

生活文化科の目標

アパレルに関する専門的な知識・技術を習得するとともに、
服飾に関する感性を磨きながら、将来、ファッション関連の分野で活躍できる
スペシャリストの育成を目指します。

学習内容

＊数字は単位時間
△は選択科目
（単位時間は予定で変更することもあります）

1年	
● 普通科目	19
● 生活産業基礎	2
● 生活産業情報	2
● ファッション造形基礎	3
● ファッションデザイン	3
2年	
● 普通科目	17
● 課題研究	2
● 生活産業情報	2
● ファッション造形	4
● ファッションデザイン	2
● 染色	2
3年	
● 普通科目	13
● 課題研究	2
● ファッション造形	6
● ファッションデザイン	2
● 伝統工芸	2
● アパレル情報処理（選）	△2
● アパレル教養実践（選）	△2
● アパレルアート	2

Q 生活文化科の特徴は何ですか？

A
◎**自分でデザインした服を製作し、3年次には学習の集大成として**
ファッションショーを実施しています。
◎徳島の伝統工芸である藍染めを、藍建てから染色まで幅広く
学習します。
◎各種の資格上級取得を目指します。

Q どんな資格取得を目指しますか？

A
◎**文部科学省後援　被服製作技術検定**　1級
◎**文部科学省後援　AFT色彩検定**　3級
◎**文部科学省後援　ビジネス文書実務検定**　2級

Q 卒業後の進路はどうなりますか？

A
大学や短大、和裁･洋裁の専門学校等に進学し、生活文化科で学んだ知識や技術をさらに深めます。
また、アパレル関連会社への就職、アパレル関連の企業や店舗などで販売に関わるなど、学んだ知識を生かし活躍しています。

■被服製作実習

■伝統工芸　藍染め

■ファッションショー

福祉科

生徒数 (R2.5.1 現在)

	男	女	計
1年	9	21	30
2年	10	22	32
3年	11	22	33

福祉科の目標

①少子・高齢社会の現実を見つめ、生活の中の福祉について考えます。
②高齢者や障がい者など介護を必要とする人の心身の介護について
　専門的知識と技術を学び、介護福祉士国家試験の合格を目指します。

学習内容

＊数字は単位時間

（単位時間は予定で変更することもあります）

1年	
● 普通科目	15
● 社会福祉基礎	2
● 介護福祉基礎	2
● コミュニケーション技術	2
● 生活支援技術	3
● 介護総合演習	1
● 介護実習	3
● こころとからだの理解	2
● 福祉情報活用	2
2年	
● 普通科目	14
● 社会福祉基礎	2
● 介護福祉基礎	2
● 生活支援技術	3
● 介護過程	2
● 介護総合演習	1
● 介護実習	5
● こころとからだの理解	3
3年	
● 普通科目	15
● 介護福祉基礎	1
● 生活支援技術	4
● 介護過程	2
● 介護総合演習	1
● 介護実習	5
● こころとからだの理解	3
● 福祉情報活用	1

Q 福祉科の特徴は何ですか？

A 高齢者や障がいのある人へのきめ細やかなサービスに対応できるよう、講義や実習を行います。
介護福祉士を養成する福祉系高校として、将来の福祉の専門職を育てており、就職する人の大半が介護関係の仕事に就きます。

Q 施設などでの介護実習はどのくらいありますか？

A 実際に介護の体験をさせていただくため、**1年では15日、2年では24日、3年では23日**程度の実習があります。

Q どんな資格取得を目指しますか？

A 社会福祉施設等で働く為に必要な**介護福祉士**の国家試験合格を目指します。また、卒業後、大学、専門学校に進学し、**社会福祉士**、**理学療法士**、**作業療法士**、**看護師**、**保育士**を目指す人も多いです。

Q どんな施設・設備が整っていますか？

A 高齢者、障がい者の介護の模擬実習やその裏づけとなる理論について学ぶ実習室や講義室、リハビリトレーニング室、特殊浴槽を備えた介護実習室を設備しています。

■生活支援技術（医療的ケア）

■介護実習

■施設文化祭（阿波踊り体操）

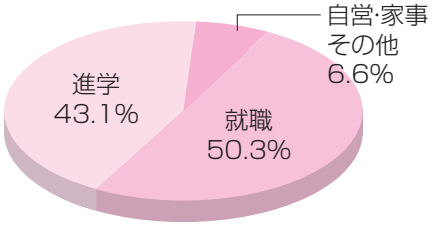
進路状況

（令和元年度）

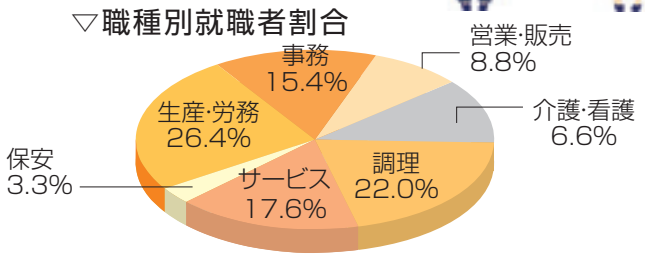
進路状況		就職	大学	短期大学	専修学校等	自営・家事・その他	合計
商業科	男	17	4	0	4	1	26
	女	22	3	4	5	5	39
食物科	男	16	2	1	1	0	20
	女	24	7	5	7	1	44
生活文化科	男	0	0	0	0	0	0
	女	5	0	1	9	3	18
福祉科	男	4	1	0	5	0	10
	女	3	4	5	10	2	24
計	男	37	7	1	10	1	56
	女	54	14	15	31	11	125
合計		91	21	16	41	12	181

職種別就職者数		専門・技術	事務	営業・販売	介護・看護	調理	サービス	保安	生産・労務	合計
商業科	男	0	2	0	0	0	4	1	10	17
	女	0	11	4	0	0	4	1	2	22
食物科	男	0	0	2	0	7	3	0	4	16
	女	0	0	0	0	13	4	1	6	24
生活文化科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	2	0	0	1	0	1	5
福祉科	男	0	0	0	3	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	3	0	0	0	0	3
計	男	0	2	2	3	7	7	1	15	37
	女	0	12	6	3	13	9	2	9	54
合計		0	14	8	6	20	16	3	24	91

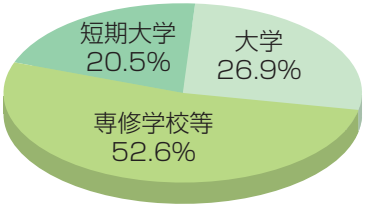
▽卒業生進路状況



▽職種別就職者割合



▽校種別進学者割合



徳島県立小松島西高等学校

徳島県小松島市中田町字原ノ下28の1
TEL 0885-32-0129(代)　FAX 0885-32-5462
http://komatsushimanishi-hs.tokushima-ec.ed.jp/
E-mail：komatsushimanishi_hs@mt.tokushima-ec.ed.jp